

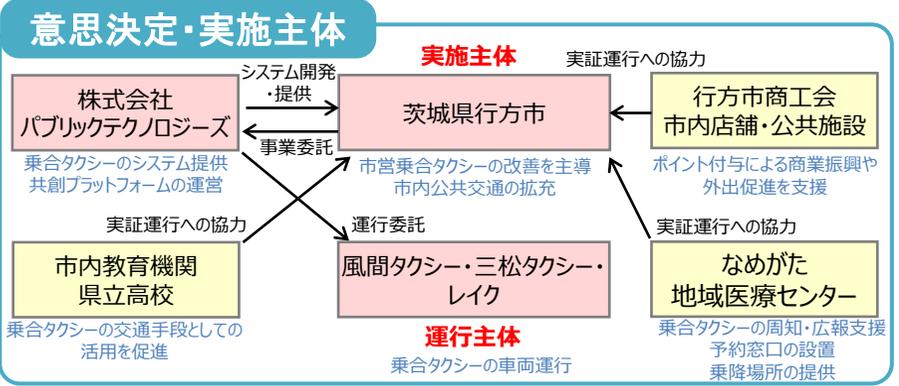
**区分** A 中小都市、過疎地など [人口10万人未満の自治体]    空間的空白の解消    他分野による交通事業の活用    医療・介護・福祉 ×交通    教育・スポーツ・文化 ×交通    商業・農業 ×交通

**対象地域**

- 地域：茨城県行方市
- 人口：32,185人
- 世帯数：11,144世帯
- 高齢化率：36.1%
- 面積：222.48km<sup>2</sup>

**背景・お困りごと**

- 公共交通の利用率低迷による**財政負担の増加**や**交通弱者に対する支援**に対応するため**乗合タクシー事業**を実施していたが、**利用率が低い状況**であった
- 令和5年度の実証で予約方法の改善などを行い、利用者数は微増したが、今年度は**市営路線バス休日便の廃止への対応**のほか、**利用者増や運賃収入以外での収益増**により、地域の中で**持続可能な交通サービスとして確立する必要**があった



**実施内容**

行方市全域をドア・ツー・ドアで運行する定時型の乗合タクシーサービスを提供することで、地域活性化と持続可能な公共交通を実現（1日8便）

**概要**

- モード：AIデマンド交通 (道路運送法第4条許可)
- 予約方法：アプリ・電話
- 料金：500円 (子供や要介護者等は割引)
- **乗合率を増やすために**、利用者の不便にはなるが、指定時間ではなく、月～金、土曜日の**1日8便の定時型運行**としている
- **若年層のサービス認知のため**、高校のインターンシップ、職場体験等の**学校行事との連携**を行った
- スクールバスとしての利用には、保護者から**安全性に対する心配の声**もあったことから、**学生同士での乗合にする等の対策**により、まずは使ってもらうことを目指した取り組みを行った
- 電話予約センターの**人件費削減のため**、**アプリ予約の利用者へのポイント配布**によりアプリ利用と**地域店舗の買い物**を促進
- 車内で**広告・PR動画**を放映し、**運賃外収益**を獲得

**重要ポイント** 工夫・ポイント

**運行実績・成果**

- 運行期間：2024/7/1～2025/2/28
- 利用者数：2,597名 (平日便広告掲載車両の運行1,897名、土曜日便の運行700名)
- 平均乗合人数：4.4人/1台の運行

収入	906,000円 (内訳 運賃収入:906,000円、車内広告収入:0円)	
支出	初期費用	5,390,000円 (プロモーション動画制作費等)
	ランニングコスト	5,681,500円 (運行費用)
損益	▲10,165,500円※なめがた地域交通共創プラットフォームが負担 (共創・MaaS実証プロジェクトを活用)	

**成果**

- 市営路線バス休日便の廃止を受けて、本事業の土曜日利用者が**昨年度比約360名増加**しており、**地域住民の休日移動に寄与**
- 利用者から「保育園実習の際、**移動時間が短縮**したことで、**実習時間を10分増加**することができた」との声があった
- 高校のインターンシップでは、従前はタクシーを借上げていたが、**本事業との連携により18日間の費用が13.9万円から8.9万円と約5万円ほど安くなり**、**学校や保護者負担が軽減**した

**今後の事業展開**

<今後の事業展開時の運行における根拠法令(予定)：道路運送法第4条許可>

- 本事業を通して得られた知見・データに基づき、利用促進や車内タブレット広告収益の運行費への充当などにより、補助金や市予算に依存しない持続可能な運行モデルを構築し、地域住民が一丸となって、未来の行方市の地域公共交通を支える仕組みを検討する